

# 令和5年度 江別市社会教育総合計画（第9期）推進状況報告書

計画期間 令和元年度～令和5年度

**基本理念**： 江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり

上記基本理念を実現するために基本目標を3項目設定し、取り組みます。

**基本目標Ⅰ**： 地域全体で子どもを守り育てる体制づくり

**【基本目標Ⅰで目指すこと】**

少子高齢化や核家族化の進展、親子の関わりや地域とのつながりの希薄化など、家庭や地域の環境変化に伴い、様々な教育上の課題が指摘されています。

江別の次代を担う子どもたちが健やかに成長していくために、家庭教育に関する学習の機会や情報を充実させるとともに、学校と地域が連携・協働しながら家庭教育を支え、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを進めていきます。

## 1 家庭の教育力の向上

◆成果指標1-① 公民館の「子育て支援事業」の参加者数（人）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
1,707	1,335	765	915	887	933	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標1-② 家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数（人）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
34,337	35,411	26,265	18,590	27,866	31,617	→

指標：江別市調査

## 2 地域の教育力の向上

◆成果指標2-① 学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
79.8%	80.5%	75.9%	74.7%	75.7%	77.6%	↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標2-② 学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
64.4%	65.0%	59.2%	56.6%	56.6%	58.0%	↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

## 3 子どもの可能性を引き出す教育の充実

◆成果指標3-① ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
63.8%	60.2%	51.8%	44.2%	53.8%	54.7%	↗

指標：江別市教育委員会調査

## 4 子どもの安全・安心な環境づくり

### ◆成果指標4-① 子育て環境が充実していると思う保護者の割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
45.6%	47.9%	51.1%	50.9%	47.9%	52.5%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- ・ 青少年の健全育成と世代間交流に取り組む地域の住民団体等の主体的な活動を支援したほか、育成団体等と連携・協働して、地域の特色を生かした体験活動を実施するなど、青少年の健全育成への取組を進めました。
- ・ 成果指標1-①「公民館の「子育て支援事業」の参加者数」、1-②「家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数」は、R4年度に比べて増加しています。要因としては、コロナの感染法上の位置付けが5類へ移行したことを受け、参加者数・利用者数の増加につながったと考えられます。
- ・ 成果指標2-①「学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合」、2-②「学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合」、3-①「ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合」、4-①「子育て環境が充実していると思う保護者の割合」は、R4年度に比べて増加しています。
- ・ 現状値（29年度）と比較すると、成果指標4-①のみ数値が上昇しており、目標を達成しているといえます。その他5つの項目については目標を上回ることはできませんでしたが、コロナ禍で停滞していた各種活動が再開し、徐々に回復傾向が見られます。
- ・ 第10期も、子どもたちを健やかに育てていくため、地域の人材やボランティア団体などと連携した様々な体験・交流活動の機会を充実させるとともに、学校・家庭・地域が相互に連携しながら、地域全体で安全に安心して子育てできる環境づくりを進めていきます。

## 基本目標Ⅱ：学びを支える生涯学習の推進

### 【基本目標Ⅱで目指すこと】

近年平均寿命が伸び、「人生100年時代」の到来が予測されていることから、超高齢化社会を見据えた生涯学習の推進を目指す必要があります。

江別市においては、市民が学びたい時に、学びたい場所で、学びたい方法により、学ぶことができる環境づくりを目指します。

また、市民団体や企業、大学などと連携・協働し、学んだ成果が日々の生活や地域づくりに活かされる生涯学習を推進します。

## 1 生涯にわたって学ぶことのできる環境づくり

### ◆成果指標1-① 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
63.1%	69.9%	64.2%	67.1%	62.2%	68.3%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

### ◆成果指標1-② 生涯学習の施設が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
66.9%	72.6%	66.8%	70.4%	65.8%	72.7%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

## 2 市民が行う学習活動への支援

### ◆成果指標2-① 生涯学習の情報が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
62.3%	68.7%	63.3%	65.9%	59.1%	66.5%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

## 3 協働・連携による生涯学習の推進

### ◆成果指標3-① 学習した成果を、まちづくりやボランティア活動に活かしている市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
21.8%	30.5%	16.2%	23.1%	17.1%	20.9%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- ・生涯学習に取り組む市民や活動団体等に、安全で快適な学習環境を提供するため、コミュニティセンター多目的ホール客席照明改修工事、野幌公民館ホール・ロビー等照明改修工事を実施しました。
- ・生涯学習事業を実施する各活動団体等が自立し、主体的に活動を展開していけるよう、社会教育関係団体への公民館施設等の使用料減免など、活動団体の安定的な運営への支援を行いました。
- ・市民の多様な学習要求に応えるとともに、市民が地域課題の解決に向けた問題意識と知識を獲得し、まちづくりに主体的に参画するための学習の場を提供するため、市内4大学と協働した生涯学習講座「ふるさと江別塾」を3年ぶりに対面形式で開催しました。
- ・成果指標については、いずれもR4年度に比べて増加しています。現状値（H29年度）と比べると、3-①「学習した成果を、まちづくりやボランティア活動に活かしている市民割合」は減少していますが、それ以外の項目については増加の結果となっています。基本目標Ⅱについては、計画期間の5年間で概ね目標に達成しているといえます。
- ・今後も、市民の主体的な学びを支援するため、市民ニーズに応じた学習機会や学習情報の提供、社会教育施設の計画的な施設整備を進めるとともに、市民の学んだ成果が地域社会に還元されるよう、必要な情報の積極的な提供に努めます。

## 基本目標Ⅲ：地域で育まれた多様な文化の再発見と創造

### 【基本目標Ⅲで目指すこと】

文化・芸術活動の促進と文化遺産の保存活用は、全ての市民に豊かで潤いのある暮らしをもたらす、地域の特色づくりに重要な役割を果たします。

市民が関心・意欲を持って活動に取り組めるよう主体的な活動を支援し、文化施設の環境整備を進めることで、市民と共に創造する文化・芸術活動の充実を目指します。

また、江別市には多くの埋蔵文化財や歴史的建造物、伝統文化などがあり、これらを市民の誇れる共有財産としていくため、調査研究・保存を通して郷土学習機会を提供するなど、有効な活用を図ります。

## 1 文化・芸術活動の促進

### ◆成果指標 1-① 文化・芸術活動に参加している市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
23.5%	26.7%	22.8%	20.9%	26.6%	25.0%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

## 2 文化施設の利活用促進

### ◆成果指標 2-① 過去1年間に文化施設を利用した市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
30.5%	32.0%	23.6%	24.9%	25.9%	29.7%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

## 3 文化遺産の保存と活用

### ◆成果指標 3-① 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合（％）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
36.3%	38.9%	42.1%	40.6%	35.3%	34.0%	→

指標：江別市まちづくり市民アンケート

### ◆成果指標 3-② 郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数（回）

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
48	46	46	38	48	49	→

指標：江別市教育委員会調査

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- ・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、音楽・演劇公演の開催や文化活動団体の事業に対し支援を行いました。
- ・郷土資料館、セラミックアートセンターでは、ふるさとへの理解や陶芸文化への興味関心を高める学習機会を提供するため、郷土史や陶芸に関する各種講座・教室を開催しました。
- ・貴重な歴史的建造物を後世に引き継いでいくため、江別の酪農の歴史・産業を伝える「旧町村農場」の大規模改修工事を行い、新たな機能を付加し、地域の活性化に寄与する施設として整備しました。
- ・成果指標 1-①「文化・芸術活動に参加している市民割合」、3-①「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」はR4年度に比べてわずかに減少し、2-①「過去1年間に文化施設を利用した市民割合」、3-②「郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数」は増加の結果となっています。
- ・現状値（H29年度）と比較すると、成果指標 2-①及び 3-①については、目標達成とはなりません。第10期社会教育総合計画においても成果指標としていることから、文化財や歴史遺産をより身近な市民共有の財産として知っていただくため、効果的な情報発信を継続して行っていく必要があります。
- ・郷土の歴史を後の世代に正しく継承していくため、引き続き、歴史文化資源の保存及び利活用を推進するとともに、郷土資料館の展示の充実や、各種講座の開催等を通じて、市民への郷土史学習の機会を提供していきます。